

不登校に対する支援体制作り

—— 「ほっとルーム」を拠点とした不登校への対応と
予防的な取り組みを通して ——

特別研修員 佐藤 和良(邑楽町立長柄小学校)

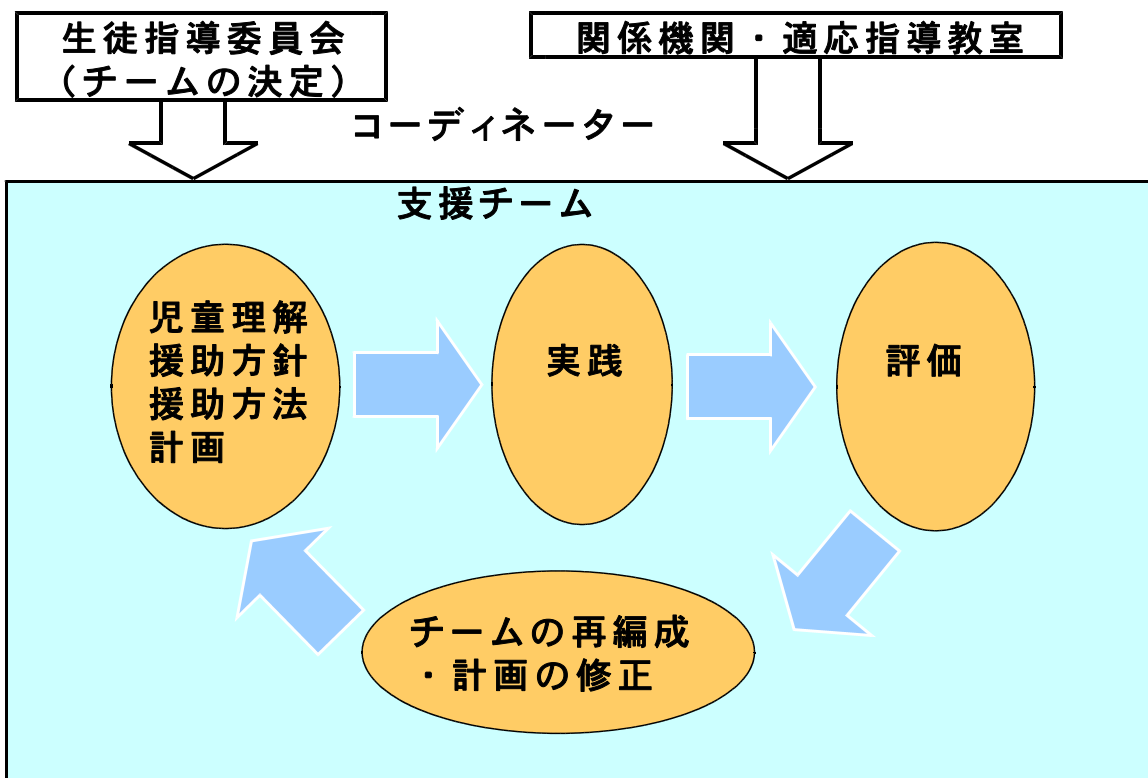
不登校問題にどのように取り組む？

不登校の児童
への対応は？

不登校を予防する
日常の取り組みは？

- 「ほっとルーム」を設置して、
- 不登校の児童へのチーム支援を行う。
 - 各学級で、不登校の予防的・開発的な教育相談を積極的に行う。
 - 悩みの相談室を設置し、教育相談活動を行う。

○チーム支援



○ 予防的・開発的な教育相談

構成的グループ・エンカウンターを取り入れる

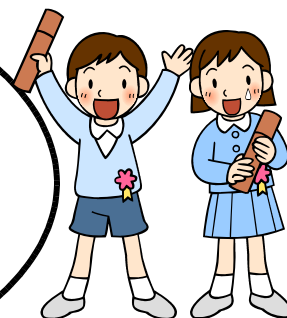
構成的グループ・エンカウンターには、
こんな良さがある

- 人間関係が希薄になった児童生徒に、リレーション（人間関係）を作ることができる。
- 温かな人間関係の中で、自己理解、他者理解が行われ、生きる力が培われる。

☆ 自分の未来を考え、今を大切に生きるためのプログラム作り
（小学校6年生のモデルプラン 「自分向上プロジェクト」）



運動会の目標を立てて、努力しよう
卒業するまでにこうなりたい
自分がしたいことベスト10
自己理解を深めよう エゴグラム
自分の夢を考えよう
私はわたし
これからの自分に大切なこと



○ 「ほっとルーム」（悩みの相談室）

環境整備

教師も生徒も『ほっ』と

できる部屋に



